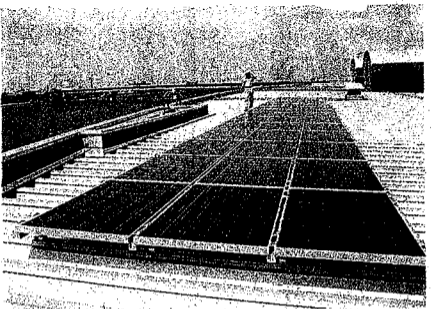


協伸静塗本社工場屋根に設置された太陽光パネル―高岡市吉久



協伸静塗 太陽光発電 事業に参入

金属製品表面塗装加工の協伸静塗（高岡市吉久、加藤一博社長）は太陽光発電事業に参入する。本社工場屋根に出力10・08割の発電システムを設けた。今後パネルを最大10倍まで増やす。再生可能エネルギー―固定価格買い取り制度に基づき、1割時当たり42円で20年間、北陸電力に全量売電する。

同工場の屋根は約2400平方メートルあり、周囲に日光を遮

る建築物がないのが特長。このほど、2400㎡のパネル42枚を設置した。年間発電量は8978割時で、約34万円の売電収入を見込む。

太陽光を利用した給湯システムを導入することも検討している。